

(様式第4号)

B E M S 概 要 書

※補助対象BEMSとして、複数のBEMSの登録を希望する場合は、BEMSごとに作成すること。

1. システム概要

| | | | | |
|--------------|---|------------------|------|----------------------------|
| BEMS提供事業者の名称 | ダイキンエアテック株式会社 | | | |
| BEMSの名称 | エアネットi(ITMモデル) | | | |
| 想定対象施設 | 業種 | 事務所、学校、病院、老健、店舗等 | 延床面積 | 1,000~10,000m ² |
| | 契約電力 | 50~500kW | 計測点数 | ~15点 |
| URL(※) | http://www.daikin.co.jp/fcs/product_12.html | | | |

※当該BEMSに関する情報をウェブサイトに掲載している場合に記入

2. システムの特徴 ※200字以内(厳守)でシステムの特徴を端的に説明すること。

| |
|---|
| 電力・ガスの計測が可能。空調メーカーならではの多彩なコントロールで室内環境を維持した遠隔デマンド制御。電力やガスの見える化はもちろん、空調室内機ごとの設定温度や運転時間なども分析表示(当社対象機種に限る)空調内部に蓄積する運転データを活用するので別途センサーなどの取り付け不要。高機能なEMSが省施工・安価で実現。空調に加えて、照明や給湯、熱源機器との連動制御。 |
|---|

3. システムを構成する主要な機器・設備(標準構成)

| No. | 機能 | 名称 | メーカー | 型番 | 参考価格(円) |
|-----|---------------|--------------------|----------------|---------------------------|----------------|
| 1 | 主制御装置 | iTM(エアネットEMS対応モデル) | ダイキン工業株式会社 | DCM601A1(エアネットEMS対応モデル) | ¥780,000 |
| 2 | 遠隔制御機能ソフト | 遠隔デマンド省エネ制御ソフト | ダイキン工業株式会社 | 遠隔デマンド省エネ制御ソフト | ¥500,000 |
| 3 | 副主装置 | iTMプラスアダプタ | ダイキン工業株式会社 | DCM601A2 | ¥250,000 |
| 4 | エネルギー管理機能ソフト | Ene-Naviソフト | ダイキン工業株式会社 | | ¥980,000 |
| 5 | 電力パルス検出器 | パルス検出器 | 三菱電機 | QRE-50A相当品 | ¥160,000 |
| 6 | 電力計測器 | エコパワーメータシリーズ | パナソニック | KW7M 相当品 | ¥18,000 |
| 7 | 電力センサー・延長ケーブル | CTセンサー | パナソニック | AKW(5A)~(400A) 相当品 | ¥4,500~¥18,000 |
| 8 | 通信機器 | ルーター / HUB | コレガ / アライドテレシス | CG-BARGX / FS708TRLV2 相当品 | ¥25,000 |
| 9 | 無線通信機器 | 無線通信ユニット | KDDI | | ¥100,000 |

4. システムの機能(実装機能について「該当」欄に○を記入)

| 区分 | 項番 | 項目 | 機能 | 該当 | 補足事項 | | |
|----|---------|---------------|--|--|-------------------------------|-----------|-------------|
| ○ | 1 | 電力 | 電力消費量 | 事業所全体の電力消費量を計測できること。 | ○ | 電力パルス検出器共 | |
| | | | 電力消費量 | 主たる電力負荷設備の電力消費量を計測できること。 | ○ | 電力計測器共 | |
| | | | 発電量・売電量 | 太陽光発電、燃料電池等の発電設備を有する場合、機器ごとの発電量及び売電量を計測できること。(他社の発電設備である場合等、計測できない場合を除く) | | | |
| | | | 蓄電量・放電量 | 蓄電設備を有する場合、蓄電量及び放電量を計測できること。(非常用等、計測する必要性がない場合を除く) | | | |
| | | | 計測間隔 | 事業所全体の30分以内の積算電力消費量を計測できること。 | ○ | | |
| | | | 見える化 | 事業所全体の30分以内の積算電力消費量を表示できること。 | ○ | | |
| | | | 電力以外(ガス、重油等) | エネルギー消費量 | 事業所全体のエネルギー(電力除く)消費量を計測できること。 | ○ | パルス信号にて入力可能 |
| | | | 見える化 | 主たるエネルギー(電力除く)負荷設備のエネルギー(電力除く)消費量を計測できること。 | | | |
| | | | 見える化 | 事業所全体の積算エネルギー(電力除く)消費量を表示できること。 | | | |
| | | | 見える化 | 事業所全体のエネルギー(電力含む)消費量を原油換算値(kl)で表示できること。 | | | |
| ○ | 接続機器の制御 | ローカル制御(※) | 省エネやピーク対策のために、各機器を自動制御できること。 | ○ | | | |
| | | 遠隔制御(※) | 地域電力のひっ迫時等に、事業所から離れた場所から制御できること。(機器直接制御でもデマンド目標値変更による間接制御でも可) | ○ | | | |
| | | 発電、蓄電設備(※) | 発電、蓄電設備を有する場合、事業所及び事業所から離れた場所から稼働状態を変更できること。 | | | | |
| ○ | デマンドの管理 | デマンド警報 | 事業所全体の30分積算電力量の目標値の設定ができ、設定された目標値を超える蓋然性が高い場合には、メール等で警報を発することができ。 | ○ | | | |
| | | デマンドピークの制御(※) | 上記の場合に、電力消費量を自動制御できること。 | ○ | | | |
| | | デマンドレスポンス | 補助対象BEMS提供事業者が電力会社等から要請を受けた場合、補助対象BEMS提供事業者のセンターシステムと連携して事業所から離れた場所からも電力使用量を抑制できること。 | ○ | | | |

区分: ○は必須、その他は任意

※制御履歴を保存できるようにすること。